

## 医療情報標準化指針提案申請書(新規・更新・追加・廃止)

申請受付番号	HS027	事務局受付日	2016年3月18日	申請日	2016年3月18日
提案申請団体名 ・責任者名	一般社団法人日本医療情報学会 理事長 岡田 美保子		規格作成団体名 ・責任者名		
提案規格案名 (版数)	和名	処方・注射オーダー標準用法規格			
	英名	Standard administration (frequency and timing) code of prescription and injection order on computerized physician's order entry system for medical treatment			
提案規格案の目的、概要(提案規格案策定経緯及び決定プロセス)	和文	「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書」(2010年1月、厚生労働省医政局総務課医療安全推進室)の「服用回数、服用のタイミングに関する標準用法マスタ」の使用、整備に関する記載を受け、(公社)日本薬剤師会と(一社)日本病院薬剤師会より公表された「標準用法用語集」に掲載された用法と用語を対象として、医療情報システム実装のためのコード化を(一社)日本医療情報学会が担当した。近い将来の電子処方箋も視野に入れた、処方・注射オーダー情報の標準化を目的としている。			
	英文	In response to "Standard Doses Usage Master of Frequency and Timing" of "The Investigate Commission Report of Internal Dose Description Method"(Medical Treatment Safety Promotion Room, Political Situation Administration Section, Ministry of Health, Labour and Welfare, January, 2010), Japan Pharmaceutical Association and Japan Society of Hospital Pharmacists have published "Standard usage glossary". Japan Association for Medical Informatics was submitted to take in charge of defining the code of this glossary for prescription order on computerized physician's order entry system, and this standard code is proposed. The scope of this proposition is standardization of prescription and injection order entry information including the electronic prescription system in the near future.			
提案規格案の申請理由、適用領域、使用方法: (1)申請理由:「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書」(厚労省医療安全推進室)において標準用法マスタの整備が求められており、関連団体が標準を策定し公表することが期待されているため。 (2)適用領域: 処方・注射オーダーで使用される用法のうち、服用回数、服用のタイミングに関する標準用法を対象とする。 (3)使用方法: 処方・注射オーダーリングシステム等、医療情報連携での使用を想定している。					
関連他標準との関係(相違点及重複点の取り扱い方): 本書は「標準用法用語集」で提示される標準用法一覧に記載されている用法と用語だけを対象としてそのコード化を行うものとし、用法記述について本仕様独自の変更や追加は原則として行わない。					
提案規格案の関連情報	メンテナンスの方法(バージョン管理も含む): 本書のメンテナンスは日本医療情報学会の標準策定・維持管理部会が必要に応じて行う。また、用語集のメンテナンスは、日本病院薬剤師会および日本薬剤師会で行うが、双方で同期をとって実施する。				
	入手資格: 特になし				
	入手方法: 日本医療情報学会のホームページよりダウンロード可能。http://www.jami.jp/「標準用法用語集」については日本病院薬剤師会のホームページよりダウンロード可能。http://www.jshp.or.jp/cont/16/0120-1.html				
	有効期限: 特になし				
	価格等: 無償				
知的所有権: 一般社団法人日本病院薬剤師会、公益社団法人日本薬剤師会、一般社団法人日本医療情報学会					

	添付資料: 処方・注射オーダー標準用法規格、標準用法コード添付表1-4.
実務運用上の連絡者	・氏名 下邨 雅一 ・TEL 03-6424-6224 ・FAX ・E-mail shimomura@jp.fujitsu.com

特記事項	日本医療情報学会が本申請を行うことについては、日本病院薬剤師会と日本薬剤師会で承認されている。
------	---

※更新・追加・廃止の時は、以下の一項を選択し、旧規格名(和名)を記載する。	
指針の更新・改廃の場合の旧規格との関係	<input type="checkbox"/> 旧規格( )を新規格に更新する。
	<input type="checkbox"/> 旧規格( )と新規格が追加で指針となる。
	<input type="checkbox"/> 旧規格( )を廃止する。
更新時の新旧の相違点	※バックワードコンパティビリティについても記入してください。

※申請した指針は、毎年5月末までに見直しをお願いします。  
事務局から問い合わせが行きますので、必要に応じて更新などの手続きをお願いします。  
(2009.05.19 改版)

**【規格名（和名）】**

処方・注射オーダー標準用法規格

**【規格名（命名）】**

Standard administration (frequency and timing) code of prescription and injection order on computerized physician's order entry system for medical treatment

**【規格の目的（ユースケースを含む）】**

「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書」（2010年1月、厚生労働省医政局総務課医療安全推進室）の「服用回数、服用のタイミングに関する標準用法マスタ」の使用、整備に関する記載を受け、（公社）日本薬剤師会と（一社）日本病院薬剤師会より公表された「標準用法用語集」に掲載された用法と用語を対象として、医療情報システム実装のためのコード化を（一社）日本医療情報学会が担当しました。近い将来の電子処方箋も視野に入れた、処方・注射オーダー情報の標準化を目的としています。

**【規格の適応領域】**

処方・注射オーダーリングシステム等、医療情報連携での使用を想定しています。

**【関連他標準との関係】**

本書は「標準用法用語集」で提示され

る標準用法一覧に記載されている用法と用語だけを対象としてそのコード化を行うものとし、用法記述について本仕様独自の変更や追加は原則として行いません。また、JAHIS 標準（処方データ交換規約、注射データ交換規約）や SS-MIX2（処方オーダー、注射データ）等との関連があります。

**【規格の入手方法】**

本書は、日本医療情報学会のホームページ <http://www.jami.jp/> から入手できます。また、「標準用法用語集」は、日本病院薬剤師会のホームページ <http://www.jshp.or.jp/cont/16/0120-1.html> より入手可能です。

**【メンテナンス状況】**

本書のメンテナンスは日本医療情報学会の標準策定・維持管理部会が必要に応じて行います。また、用語集のメンテナンスは日本病院薬剤師会および日本薬剤師会で行いますが、双方で同期をとって実施します。

**【現在の改版状況】**

2016年2月現在、本書の最新版は2016年1月に制定された「処方・注射オーダー標準用法規格」です。「標準用法用語集（第2版）」に基づいています。